



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 川崎近海汽船株式会社

コード番号 9179 URL <http://www.kawakin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井繁礼

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 高田雅彦

TEL 03-3592-5829

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,645	6.0	1,261	32.3	1,248	46.4	841	7.2
25年3月期第2四半期	21,361	1.0	953	34.1	852	41.8	784	75.2

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 1,228百万円 (63.5%) 25年3月期第2四半期 751百万円 (82.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	28.65	—
25年3月期第2四半期	26.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	45,497		22,880		50.3
25年3月期	44,995		21,769		48.4

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 22,880百万円 25年3月期 21,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,100	6.2	1,850	5.0	1,800	9.3	1,150	7.3	39.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	29,525,000 株	25年3月期	29,525,000 株
26年3月期2Q	165,764 株	25年3月期	165,764 株
26年3月期2Q	29,359,236 株	25年3月期2Q	29,359,445 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,900	6.4	1,850	8.2	1,800	6.0	1,050	△1.7	35.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府による経済政策、日本銀行による大幅な金融緩和策により、円安・株高が進み、景況は緩やかに回復基調となりました。

海運業界を取り巻く環境は、米国を始め一部に底堅さが見られるなど、世界経済全体としては緩やかな回復基調が続いたものの、一方で燃料油価格の高止まりや近海船の市況低迷が継続し、厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社の第2四半期連結累計期間の売上高は226億45百万円となり前年同期に比べて6.0%の増収となりました。営業利益は12億61百万円となり前年同期に比べて32.3%の増益、経常利益は12億48百万円となり46.4%の増益となりました。特別利益を1億74百万円、特別損失を98百万円計上した結果、四半期純利益は8億41百万円となり前年同期比7.2%の増益となりました。

事業のセグメント別業績概況は次の通りです。

「近海部門」

バルク輸送では、国内セメントメーカーの堅調な生産活動を背景に、石炭、石膏、セメントなどで安定した輸送量を確保しました。木材輸送では、復興需要等で輸入合板の輸送量は前年同期を上回りましたが、チップ輸送では市況の低迷が続きました。鋼材・雑貨輸送では、航路再編により海峡地向けの輸送量が減少し、インドネシア向けの輸送量は増加しました。またタイ向けは前年同期並みの輸送量となりました。

同部門の売上高は80億52百万円となり前年同期に比べて5.6%の増収となりました。また、営業損失は前年同期4億77百万円から48百万円改善し4億29百万円となりました。

「内航部門」

不定期船輸送では、石灰石専用船及び石炭専用船は安定的に稼働し、小型貨物船も荷動きが上昇したことから稼働が上がりました。定期船輸送では、安定した天候に加え積極的な営業活動により、輸送量は前年同期を上回りました。フェリー輸送では、新造船の投入効果もあり旅客・乗用車の輸送量が前期比大幅に増加しました。

同部門の売上高は145億58百万円となり前年同期に比べて6.3%の増収となりました。また、営業利益は16億77百万円となり、18.0%の増益となりました。

「その他事業部門」

当事業の主なものとしては、北海道地区における不動産賃貸業などがありますが、同部門の売上高は34百万円となり前年同期に比べ9.7%の減収となりました。また、営業利益は14百万円となり35.0%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億1百万円増加し454億97百万円となりました。流動資産は短期貸付金の増加などにより31億2百万円増加し139億65百万円となりました。固定資産は船舶の減価償却や売却などにより26億1百万円減少し315億31百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ6億9百万円減少し226億16百万円となりました。流動負債は営業未払金や未払法人税等の増加などにより8億77百万円増加し85億71百万円となり、固定負債は長期借入金の返済などにより14億86百万円減少し140億45百万円となりました。

純資産は土地再評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ11億10百万円増加し228億80百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3・第4四半期につきましては、最近の業績動向を踏まえ前回公表した業績予想を下記の通り修正することにいたしました。

なお第3四半期以降の前提条件は次の通りです。

為替レート：1ドル=100円（前回公表時 90円）

燃料油価格：C重油 75,600円/KL（前回公表時 73,000円/KL）

平成26年3月期通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想(A)	43,500	1,750	1,600	1,000	34.06
今回公表予想(B)	45,100	1,850	1,800	1,150	39.17
増減額(B)-(A)	1,600	100	200	150	—
増減率	3.7%	5.7%	12.5%	15.0%	—
(参考) 前期の実績	42,462	1,761	1,646	1,072	36.52

(参考) 平成26年3月期通期個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想(A)	43,300	1,700	1,600	1,000	34.06
今回公表予想(B)	44,900	1,850	1,800	1,050	35.76
増減額(B)-(A)	1,600	150	200	50	—
増減率	3.7%	8.8%	12.5%	5.0%	—
(参考) 前期の実績	42,207	1,710	1,697	1,068	36.39

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

第1四半期連結会計期間より一部の船舶の耐用年数について、長期貨物運送契約の契約期間が延長されたことを契機に、経済的使用可能予測期間(変更後の契約期間)に変更しております。

この変更により、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の売上原価における減価償却費が60百万円減少し、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	768,978	1,020,124
受取手形及び営業未収入金	5,255,768	5,470,241
原材料及び貯蔵品	971,233	899,915
繰延税金資産	63,398	96,254
短期貸付金	2,286,000	5,189,000
未収還付法人税等	102,809	25
その他	1,420,782	1,296,167
貸倒引当金	△5,700	△6,100
流動資産合計	10,863,270	13,965,628
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	30,655,596	27,896,205
建物及び構築物(純額)	449,722	119,474
土地	1,051,895	931,227
建設仮勘定	433,430	691,563
その他(純額)	55,724	62,861
有形固定資産合計	32,646,368	29,701,332
無形固定資産	106,162	112,031
投資その他の資産		
投資有価証券	656,218	795,145
長期貸付金	150,624	141,995
繰延税金資産	63,151	75,283
敷金及び保証金	187,627	344,691
その他	343,389	382,052
貸倒引当金	△20,964	△20,964
投資その他の資産合計	1,380,047	1,718,203
固定資産合計	34,132,577	31,531,567
資産合計	44,995,848	45,497,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,262,546	3,771,979
短期借入金	2,975,415	2,789,649
未払法人税等	16,706	324,266
賞与引当金	173,295	174,565
役員賞与引当金	42,000	21,000
災害損失引当金	1,523	1,523
本社移転費用引当金	—	39,339
その他	1,222,905	1,449,086
流動負債合計	7,694,392	8,571,409
固定負債		
長期借入金	13,611,650	12,228,183
繰延税金負債	1,084,367	1,015,405
再評価に係る繰延税金負債	77,645	74,764
退職給付引当金	133,612	148,113
役員退職慰労引当金	388,288	257,544
特別修繕引当金	236,067	321,248
固定負債合計	15,531,631	14,045,259
負債合計	23,226,024	22,616,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,849
利益剰余金	18,636,341	18,903,465
自己株式	△27,505	△27,505
株主資本合計	22,226,334	22,493,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,568	238,722
繰延ヘッジ損益	—	4,255
土地再評価差額金	△588,700	139,943
為替換算調整勘定	△1,669	4,147
その他の包括利益累計額合計	△456,802	387,069
少数株主持分	291	—
純資産合計	21,769,823	22,880,527
負債純資産合計	44,995,848	45,497,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	21,361,797	22,645,736
売上原価	18,576,506	19,605,849
売上総利益	2,785,291	3,039,886
販売費及び一般管理費	1,831,554	1,778,287
営業利益	953,736	1,261,599
営業外収益		
受取利息	6,512	7,993
受取配当金	10,368	29,833
為替差益	—	17,064
その他	16,370	29,439
営業外収益合計	33,251	84,330
営業外費用		
支払利息	86,663	87,563
為替差損	33,633	—
その他	13,852	9,919
営業外費用合計	134,149	97,482
経常利益	852,837	1,248,447
特別利益		
固定資産売却益	548,792	174,770
特別利益合計	548,792	174,770
特別損失		
減損損失	—	33,754
投資有価証券評価損	78,754	—
本社移転関連費用	—	64,991
特別損失合計	78,754	98,746
税金等調整前四半期純利益	1,322,875	1,324,472
法人税、住民税及び事業税	674,669	315,450
法人税等調整額	△136,195	168,247
法人税等合計	538,473	483,697
少数株主損益調整前四半期純利益	784,402	840,774
少数株主損失(△)	—	△291
四半期純利益	784,402	841,066

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	784,402	840,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,458	105,154
繰延ヘッジ損益	1,316	4,255
土地再評価差額金	—	272,139
為替換算調整勘定	1,790	5,816
その他の包括利益合計	△33,351	387,366
四半期包括利益	751,050	1,228,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	751,050	1,228,432
少数株主に係る四半期包括利益	—	△291

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,322,875	1,324,472
減価償却費	1,730,043	1,926,503
減損損失	—	33,754
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	78,754	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	400
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,470	1,269
本社移転費用引当金の増減額(△は減少)	—	39,339
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,000	△21,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△31,728	△25,016
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△94,474	△130,744
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△178,308	85,180
受取利息及び受取配当金	△16,880	△37,827
支払利息	86,663	87,563
為替差損益(△は益)	2,297	△18,171
有形固定資産売却損益(△は益)	△548,792	△174,800
売上債権の増減額(△は増加)	9,461	△284,969
たな卸資産の増減額(△は増加)	80,736	72,807
未払又は未収消費税等の増減額	24,854	520,766
仕入債務の増減額(△は減少)	454,935	498,791
その他	△212,231	△84,133
小計	2,681,719	3,814,186
利息及び配当金の受取額	15,371	38,917
利息の支払額	△87,764	△87,885
法人税等の支払額	△31,521	△24,246
法人税等の還付額	321,796	114,231
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,899,602	3,855,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,218,346	△482,550
有形固定資産の売却による収入	73,382	1,704,501
無形固定資産の取得による支出	△4,115	△59,156
貸付金の回収による収入	10,591	6,938
敷金及び保証金の差入による支出	△12,895	△158,194
その他	1,183	5,755
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,150,200	1,017,294
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△425,000	—
長期借入れによる収入	4,900,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,491,649	△1,624,817
配当金の支払額	△103,245	△117,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,880,105	△1,742,101
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,028	23,747
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	627,479	3,154,145
現金及び現金同等物の期首残高	3,192,274	3,054,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,819,754	6,209,124

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,624,864	13,698,394	38,538	21,361,797	—	21,361,797
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,624,864	13,698,394	38,538	21,361,797	—	21,361,797
セグメント利益又は損失(△)	△477,625	1,420,944	10,417	953,736	—	953,736

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	953,736
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	953,736

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,052,669	14,558,255	34,811	22,645,736	—	22,645,736
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,052,669	14,558,255	34,811	22,645,736	—	22,645,736
セグメント利益又は損失(△)	△429,544	1,677,080	14,063	1,261,599	—	1,261,599

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,261,599
「その他」の区分の利益	—
四半期連結損益計算書の営業利益	1,261,599

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より一部の船舶の耐用年数について、長期貨物運送契約の契約期間が延長されたことを契機に、経済的使用可能予測期間(変更後の契約期間)に変更しております。

当該変更により、従来 of 耐用年数によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の「内航部門」のセグメント利益が60,064千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	近海部門	内航部門	その他事業部門(注)	計			
減損損失	—	—	33,754	33,754	—	—	33,754

(注) 売却資産に係るものであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。